

# 松一小理科実験教室

2年生が修学旅行中の12月7日(木)松山第一小学校の6年生69名を招いて理科実験教室を開催しました。物理、化学、生物、地学の4講座に分かれて、本校の理科系部活動の1年生が指導補助にあたり実験を行いました。

物理では光の三原色について学び、それを確かめるために分光器を作りました。そしてスペクトルが見える理由についても学びました。化学ではマグネシウムと塩酸で水素を発生させたり、水酸化カルシウムと塩化アンモニウムを反応させてアンモニアを発生させたりした後、それぞれの気体の性質について調べました。生物ではトリレバーから食塩水やエタノールを使って、核に含まれるDNAの抽出をしました。地学では琥珀を磨いて、琥珀に閉じ込められた虫の観察などをしました。



物理



化学



生物



地学

## 川越まつり山車ロボットコンテスト

11月12日(日)に「かわごえ産業フェスタ」の会場(ウエスタ川越)にて第12回東洋大学主催「川越まつり山車ロボットコンテスト」が開催されました。

埼玉県内の高校生18名が参加し、技術や芸術性が競われ、松山高校の阿部・清水組の「三重塔号」が審査員特別賞を受賞しました。



## 高校生ポスター研究発表会・高校生科学技術チャレンジ



11月19日(日)に上野の国立科学博物館で藤原ナチュラルヒストリー振興財団が主催する第8回高校生ポスター研究発表会が開催されました。そこで生物部が「日本産ドブガイ族の種分化とその種の同定法」というタイトルで研究成果を発表しました。科学の専門家の審査委員が「自然史(ナチュラルヒストリー)」と「分かりやすさ」の2点に留意し、5段階で評価します。その結果、生物部の作品は優秀賞となりました。

また、12月9日(土)～10日(日)に日本科学未来館で実施された第15回高校生科学技術チャレンジに生物部が参加しました。高校生科学技術チャレンジ(Japan Science & Engineering Challenge、通称JSEC=ジェイセック)は、2003年に朝日新聞社主催で開始した科学技術の自由研究コンテストです。事前に応募書類を基に審査委員による予備審査を通過した30作品に、生物部の研究「アニサキスのトランスポゾンにサケ目から来たのか？」が選ばれ、当日は専門の審査員を前にポスター発表を行い、優等賞を受賞しました。

